

(一般社団法人) 千曲会・茨城支会便り 2019 年 6 月 23 日発行

支会長：石橋 洋二

事務局：阿部 新一（庶務幹事）

片岡 邦彦（庶務幹事）

支会費振替口座番号：00390-4-15275 千曲会茨城支会

千曲会・茨城支会長の挨拶

支会長 石橋 洋二

千曲会茨城支会の皆様には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて平成 27 年より進められていた繊維学部同窓会設立 100 周年記念事業は昨年 10 月 13 日に举行された旧千曲会館の改修保存工事の竣工式をもって全ての記念事業が無事終了しました。同会館は上田市の有形文化財に指定され、今後は学生はじめ同窓生の心の拠り所として、またさまざまな交流の場としての役割を果たす事が期待されています。

千曲会茨城支会は会員数約 170 名であり同窓会全体に占める割合は 2 パーセント弱の中規模所帯ですが、定期的に支会総会を開催する数少ない支部の一つとして、また支会便りを発行している唯一の支部として高い評価を得ています。支会員の皆様には年一回春に開催されます支会総会の案内を差し上げていますが、出欠のご返信を下さる方は大体 40 名前後、また支会総会参加者は年で若干ばらつきますが 10 名前後から 16 名ほどであり、残念ながら支会員の 10 パーセントにも達しません。支会総会では内容充実を図るイベントを企画しており、近年は講演会の開催を継続しています。講師として学部ゆかりの方をお招きして研究・教育の最近状況や同窓会運営などの生きた情報をお聞きし、また支会員で豊かな職歴をお持ちの方に経験談などを披露していただいています。講演会を通して情報の共有化といった面や会員相互の交流・親睦が一層深まることを期待するとともに、支会総会への参加をお考えの方にとって参加を思い切るきっかけになれば幸いです。

ところで支会活動に参加下さる方が年々固定化する傾向にあり、支会活動の活性化と同窓会としての繋がりや輪を広げていく必要性を痛感しています。ここで支会員の皆様に改めてお願いですが、支会総会開催案内がお手元に届きましたらまず出欠のご返信をお忘れなく、さらに出来れば近況などの一口伝言を是非お書き添えいただき、返信葉書もしくはメールなどでご連絡下さいますようお願いいたします。皆様からの音信が支会との繋がりを保つ大切な手段です。また支会の活動費として年会費 500 円をお願いしています。会費ご負担の件もどうかよろしくご理解の上ご賛同下さいますようお願いいたします。

重ねて千曲会茨城支会員の皆様のご参加、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成 30 年度茨城支会総会の概要

座長：地区幹事 矢島正晴

開催日：平成 31 年 3 月 9 日（土）

会 場：ホテルグランド東雲 つくば市小野崎 488-1

開 会 （11:00）

- 開会の挨拶
- 支会長挨拶

地区幹事 矢島正晴
支会長 石橋洋二

一議 事 次 第 一

座長：地区幹事 矢島正晴
支部代議員 石橋洋二
庶務幹事 阿部新一

1. 平成 30 年度本部総会の報告

2. 事務報告

1) 平成 29 年度支会総会の概要

2) 「茨城支会だより」：平成 30 年度 6 月発行

3) 平成 30 年度支会活動の概要

3. 会計報告

会計幹事 寺島優司

4. 会計監査報告

会計監事 栗林茂治

5. 支会役員

支会長 石橋洋二

6. 令和元年度事業計画

庶務幹事 阿部新一

1). 「茨城支会便り」： 幹事担当にて本年度 6 月頃に発行予定

2). 令和元年度茨城支会総会： 北部地区を予定（開催日時、会場等は未定）

7. 次年度予算

会計幹事 寺島優司

8. 特別講演 「千曲会の現状」 石坂征洋様 千曲会専務理事

----- 写真撮影、昼食・懇親会 -----

食事を取りながら会員同士の情報交換をする

オブザーバーで参加いただいた小井土忠夫理事の素敵な尺八の音色を拝聴しました

閉 会 （13:30）

- 閉会の挨拶

地区幹事 矢島正晴

平成 30 年度千曲会茨城支会総会出席者（敬称略）

大井秀夫（蚕 36）、蒲生卓磨（学蚕 5）、石橋洋二（機 2）、栗林茂治（学蚕 5）、
内川修（機 5）、長谷川聖人（蚕 36）、矢島正晴（学農 17）、寺島優司（学工 22）、
大工原卓（蚕 36）甲田能法（学化 23）、阿部新一（機 5）、片岡邦彦（化工 11）、
ゲスト参加 石坂征洋千曲会専務理事（学農 18）、オブザーバー参加 小井土忠夫千曲会
理事（化工 11）



前列左より（敬称略）

阿部新一（機 5）、大井秀夫（蚕 36）、長谷川聖人（蚕 36）、内川修（機 5）
 蒲生卓磨（学蚕 5）、石坂征洋（千曲会専務理事：学農 18）、石橋洋二（機 2）、寺島優司（学工 22）
 小井土忠夫（千曲会理事：化工 11）、栗林茂治（学蚕 5）、片岡邦彦（化工 11）、甲田能法（学化 23）
 大工原卓（蚕 36）、矢島正晴（学農 17）

当日の講演の紹介（講演会の概要）

石坂専務理事の講演 「千曲会の現状」

ご講演は資料を基に、初めに上田の街、同窓会館、大学祭・修己寮祭等の今昔や学部の状況の説明を頂き、その後 100 周年記念事業を終えた千曲会の現在の状況、並びに同窓会についてお話を頂き拝聴しました。ご講演頂きました資料を石坂専務理事のご承認を頂きましたので、スペースの関係で一部ではありますが掲載させていただきます。

1. 繊維学部の状況



左事務棟 右講義棟



マルベリーホール（生協）

平成 30 年度都道府県別入学者数(スペースの関係で北関東&福島を抜き出しました)

県名等	志願数	入学数
福島県	3	1
茨城県	20	8
栃木県	8	3
群馬県	22	9
埼玉県	42	14

千曲会の現状

同窓会の歴史

- ・ 明治 43 年 (1910) 上田蚕糸専門学校創立 (109 年前)
- ・ 大正 4 年 (1915) 上田蚕糸専門学校同窓会設立 (104 年前)
- ・ 昭和 4 年 (1925) 同窓会名を千曲会とする (94 年前)
- ・ 昭和 10 年 (1935) 同窓会館 (旧千曲会館) 竣工 (84 年前)
- ・ 昭和 15 年 (1940) 社団法人千曲会となる (79 年前)
- ・ 昭和 24 年 (1949) 信州大学繊維学部となる (70 年前)
- ・ 昭和 55 年 (1980) 新同窓会館 (現千曲会館) 竣工 (70 周年記念)
- ・ 平成 25 年 (2013) 一般社団法人千曲会となる
- ・ 平成 27 年 (2015) 同窓会 100 周年

千曲会の役割：繊維学部同窓会

事業目的

- ・ 繊維学部の教育・研究の支援 ➡ (後援会)
- ・ 学生の支援 ➡ (保護者会)
- ・ 会員の交流・懇親 (学びと交流)
- ・ 会報、図書の発行
- ・ その他

同窓会千曲会の役割

1. 学生支援

後輩が元気に育ってほしい (保護者代表が全国の保護者をまとめることは困難)

保護者会の代わりに同窓会がしている

- ・ 入学生歓迎会 ・ 新入生歓迎会 ・ 大学祭助成
- ・ クラブ助成 ・ 研究助成 ・ 卒業記念品

2. 母校繊維学部の支援

母校の最大の応援団＝後援会 (母校が活躍してくれるのが嬉しい)

- ・ ホームカミングゲデー共催 ・ 学会支援
- ・ 青少年のための科学の祭典共催 ・ 研究助成

3. 会員交流

会員相互の親睦

・クラス会 ・研究室会 ・クラブ OB 会・全国 37 支会 ・総会

4、基盤整理

- ・名簿整理・会費・情報発信（会報の発行、ホームページ・フェイスブックの運営）
- ・千曲会館運営

千曲会会員数（2018年8月）

繊維学部卒業生数 18,300人（院含む） 物故者 3,057人

現存会員数 15,243人

（住所判明者：9,892人、住所不明者：5,351人）

支会別会員数（住所判明者）（スペースの関係で一部を抜き出しました）

1、愛知支会 1,410人

2、東京 976人

：

17、茨城 172人

：

☆千曲会は100周年を終えどう向かうか

①目的達成のための組織編制（後援会、保護者会、会員交流）

有力者G検討委員会、役員研修委員会、資金委員会、等

②同窓会理解促進➡新入生歓迎会。広報改善。

③名簿の充実（住所不明者の削減）

④会員交流促進（学びと交流）

⑤大学との関係改善

5、今、目指している方向 日本一の同窓会

① 支会総会（15➡25） クラス会（15➡20） 住所把握率（70➡80%）

② 会費納入率（50➡90%） 寄付（150万➡500万）

③ 学部学生支援 ・助成金200～500万円（現在100万円）

④ 産学連携、後輩指導他諸々

⑤ 千曲会理解の促進

注意：石坂専務理事の許可を頂き、資料を掲載させて頂きました。スペースの関係で一部を省略させて頂いております。千曲会の目指している方向を、ご理解いただけると幸いです。）



一般社団法人千曲会 第79回定期総会に出席して

代議員 石橋洋二

平成30年11月3日、10時30分より表記の総会が繊維学部総合研究棟7階ミーテングルームにおいて、代議員63名の出席を得て開催された。

白井理事長および下坂名誉会長よりの挨拶において、旧千曲会館の改修保存工事が無事

終了した報告と会員からの寄付などの協力に対するお礼の言葉があった。また下坂名誉会長より来年は信州大学創立70周年の記念の年となり6月1日に松本市において記念のイベントが行われること、合わせて校歌が制定されることなどの紹介があった。

議事として以下の5件の案件が審議されいずれも承認された。

第1号議案：平成30年度事業報告（案）承認の件があり、白井理事長より事業報告が行われた。千曲会の現況について、旧千曲会館保存事業、正会員・保護者賛助会員の会費納入促進、学部・学生支援の増強、会員交流の増強、会員交流の活性化などが報告された。

第2号議案：平成30年度収支決算（案）の承認の件

第3号議案：入会金に関する定款第36条変更（案）承認の件

第4号議案：事業年度に関する定款第38条変更（案）承認の件

第5号議案：役員改選の件

夏目副理事長より閉会の挨拶があり、本総会は閉会した。

事務報告

・茨城支会総会（平成30年度）開催

開催日 平成31年3月9日（土） 会場：ホテルグランド東雲 つくば市小野崎 488-1
（14名出席 ゲスト1名 オブザーバー1名）

・茨城支会便りの発行・発送： 令和元年年6月上旬

・役員会開催記録（於：茶房来夢来人（つくば市））

第1回 平成30年12月6日 千曲会総会報告、H30年度支会総会計画、その他

第2回 平成31年3月1日 総会出席者の確認、総会次第検討、案内状発送の確認、総会役割確認他

・茨城支会総会案内状況

平成31年2月発送 回収： 2月末

本年度往復葉書でのご連絡 89名（庶務幹事2名を除く）

通常葉書きでのご連絡 79名

往復葉書返信あり 44通（往復葉書返信連絡率：≒49% 前年45%）

メールでの連絡あり 1通

*往復葉書でのご連絡は、卒業後10年以内、または過去に支会に連絡のあった方とさせていただきます。葉書でのご連絡は、上記以外の方で千曲会に住所登録をされている方とさせていただきます。

宛先不明者氏名 : 6 通

富田敏達、野本正代、小林千玲、大原 功、今泉佳二、永森聖崇

役員名簿

新年度の役員（敬称略）

支会長（支部代議員兼務） : 石橋洋二 副支会長：矢島正晴 会計監事：阿部新一

庶務幹事：、片岡邦彦 会計幹事：寺島優司 幹事：山本正秀、内川修

地区幹事：(A) 北部：阿部新一、石橋洋二 (B) 中部：矢島正晴、山本正秀、

(C) 南部：内川修、片岡邦彦、 (D) 西部：寺島優司

顧問 : 大屋正明、蒲生卓磨、栗林茂治

退任 : 栗林茂治（会計監事から退任し顧問につかれる）、関島稔、馬越芳子

平成 30 年度会計報告(平成 31 年 3 月 9 日)

収入

前期繰越	96,286円
支会費 (500円×34名)	17,000円
総会参加費 (4,500円×16名)	72,000円
千曲会本部補助	7,500円
大井秀夫様(御礼)	20,000円
合計	212,786円

支出

事務通信費計	33,060円
交通費 (幹事会時、使った高速代金)	19,640円
総会参加費 (甲子亭)	57,480円
合計	110,180円

次期繰越 102,606円

会計監査報告

関係書類を監査したところ、適正であることを確認したので、ここに報告いたします。

平成 31 年 3 月 1 日

会計監査 栗林 茂治 ㊞

会計担当幹事からのお願い

会計幹事 寺島優司

支会の運営が滞りなく行われるためには、財政の保証が必要です。支会員皆様のご協力をお願い致します。皆様からいただいた支会費は支会便りの印刷・発送および支会総会開催通知等に使用します。

- 1). 支会会費 (年額 500 円) 平成 30 年度分を未納の方には郵便振替用紙を同封しますので、送金下さいますようお願い致します。
- 2). 振込手数料は、振込者負担とさせていただきます、ご理解とご協力をお願いいたします

会 費 納 入 者 (敬称略、順不同)

平成 30 年 (2018 年) に、支会費を収めていただいた方の氏名
500 円納入

田中秀明 (機高 5)、上野平八郎 (学蚕 1)、馬場 論 (学化 9)、稲川紫生 (材化 1)
下出敏達 (学紡糸 1 1)、総会参加者

1,000 円納入 (H 2 9、3 0 分)

篠崎妙子 (機高 2 1)、縣 勇次 (学紡 1 3)

5,000 円納入 (H 2 8、2 9、3 0 令和元年から令和 7 分)

甲田能法 (学科 20)

物 故 会 員

平成 31 年 3 月までに次の方々が亡くなられたとの連絡が有りました。

これまでの千曲会茨城支会へのご協力に感謝を申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。

・緑川栄一様 平成 3 1 年 2 月 1 9 日 9 6 歳にて逝去(略歴を大井様から提供頂く)

大正 1 2 年長野県佐久市で誕生

昭和 1 7 年 9 月 上田蚕糸専門学校養蚕科卒業

昭和 4 9 年 4 月～昭和 6 1 年 8 月まで蚕品種研究所勤務 副所長になる

昭和 5 9 年～昭和 6 2 年まで 千曲会茨城支会長を歴任

・米山義孝様 (学農 11) 今回の総会案内で家族の方からの返信による

会員の近況報告及び支会への感想等 (敬称略、順不同)

葉書の内容紹介

大井 秀夫：7 月の誕生日で卒寿になります。車の運転免許を返上して地についた活動
をしたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

長谷川 聖人：お世話になります。折角の同窓会ですから、景気づけに校歌でも合唱して
みてはどうでしょうか。(校歌が無い?)

上野 平八郎：米寿になりかなりガタツイテきました。ご盛会をお祈りします。

栗林 茂治：高齢で体中にガタが出てきましたが何とか元気になっています。

下出 敏達：いつもお世話さまです。小山市で何とか過ごしております。皆様のご健康を
お祈りいたします。

瀧沢 敏雄：健康な日々を過ごしております。地元の自治会、老人クラブの支援等を実施
中です。

石橋 洋二：趣味の囲碁界の話題はここ 1, 2 年の囲碁 AI(人工知能) の登場とともに新た
な変革の旋風がもつぱら、プロ棋士の成績は AI 研究の度合いに左右されるともいわれてい
る。ザル碁の仲間内でも AI を模した奇手が飛び出したり、新しい潮流に遅れまいとするけ
なげな努力が有るが、これも趣味の楽しみ方の一つと思っている。

内川 修：本年も第 21 回長塚節文学賞に入賞できました。昨年 9 月から新たに、医療機器
製造販売業の責任者を務めており、人の健康の向上に努めたいと思います。

蒲生 卓磨：妻が 1 月 2 日に亡くなり、何かと大変です。

武内 克己：支会の盛会をお祈りいたします。

高橋 俊夫・広子：日本原燃（株）を定年退職し、丸2年が経ちます。単身赴任から解放され、自由な時間を大切に自宅で家内と二人で元気に暮らしています。

石田 裕之：昨年来相変わらず仕事しています。千曲会会員でアマチア無線局をやられている方がいらっしゃればご連絡いただければと思います。

∞∞∞ 今回開催場所の、筑波研究学園都市に関して、 栗林茂治様から ∞∞∞

筑波移転と筑波研究学園都市の思い出

栗林茂治（学蚕5）

私は筑波移転つまり筑波に赴任してから早くも40年になります。ここではとりわけ印象深かった筑波移転と筑波研究学園都市について書かせていただきます。

①筑波移転

1960年代、日本は高度経済成長の中で、東京の人口過密・一極集中、つまり東京の人が極端に多すぎるのが大きな社会問題となり、これを是正するには首都圏の官庁が地方へ移転すべきとされ、移転先は茨城県の筑波山麓が選ばれました。79年には都内の工業技術院、国土地理院、農林省、文部省など、国の全機関の30%にあたる47機関が、筑波山麓に勢揃いしました。雨や雪どけの日は泥でぬかるみになり、夜は街の灯も見えない生活道路に象徴される筑波への移住は想像以上に大変でしたが、同時に新しい土地と職場づくりの喜びに満ちた面も少なくなかったことで救われました。開拓者としての多くの困難を克服して、つくばの地は、その後国策新都市の建設が進められ、歴史的な成果をあげています。

②筑波研究学園都市

筑波研究学園都市は 東京等の国の試験研究機関等を計画的に移転することにより東京の過密緩和を図るとともに、高水準の研究と教育を行うための拠点形成する狙いの国家プロジェクトとして建設されたものです。現在の人口約20万人弱、国、民間をあわせて300に及ぶ研究機関と企業、約1万人以上の研究者を擁する我が国最大の研究開発拠点となっています。05年につくばエクスプレスが開業し、首都圏へのアクセスが向上し、沿線開発も進展し、充実した都市機能、豊かな自然、そして科学の街ならではの知的な環境に加えて都心との近接性を供えた「つくばスタイル」の街として新たなステージに向かってまちづくりが進められています。

③筑波研究学園都市50周年記念モニュメント

つくば市の玄関口である中央公園（つくば市吾妻）の一角に、つくば市で初のノーベル賞の栄誉に輝いた高エネルギー加速器研究機構の小林誠博士が講演している姿のレリーフ彫刻を中心に、筑波大学ゆかりのノーベル賞学者の故朝永振一郎博士が愛猫と散歩している姿と、江崎玲於奈博士が椅子でくつろいでいる姿の2つのブロンズ像が建てられています。傍らには「未来の台座」が設けられ、「この台座は、ノーベル賞受賞者を始め、世界で活躍するあなたの未来のためのものです。この台座に立ち、未来のあなたの姿を想像し、「夢」や「希望」を抱いてください」という呼びかけ文があります。また第一線で活躍されている科学者等のメッセージが工夫をこらして掲げられています。

ご紹介：栗林顧問からの情報提供を頂きました（つくば市の一コマ）



筑波山麓（写真①）



（写真②）朝永振一郎博士ー愛猫と



JAXA つくば宇宙センター



エキスポセンターのプラネタリウム



つくば市国際会議場

∞ ∞ ∞



東御市指定文化財 百体観音
六十一番 千手観音像

事務局から

事務通信費に支会運営費の1/3を使わせて頂き心苦しく感じておりましたが、今回支会総会に参加いただいた千曲会石坂専務理事から、支会総会の席上で支会活動に伴う通信費について2万円を上限に補助がある旨のお話をいただきました。財政難の茨城支会にとっては、天の助けです。早速石橋支会長が補助金申請の仕方などを確認し、申請を行いましたので、今期以降、少し予算に余裕ができ支会活動の活性化に充てられるのではと期待しています。

今回お送りさせて頂きました茨城支会便りの情報を、千曲会のホームページに掲載をいただける事になりました。詳細はまだ決まっておりませんが、次回以降皆様にご紹介できると思います。

支会便り作成にあたりまして、皆様の情報のご提供有難うございました。また、栗林茂治様からは、支会総会開催場所のつくば市に関して「筑波移転と筑波研究学園都市の思い出」の投稿を頂きました。重ねてお礼を申し上げます。これからも、千曲会茨城支会の情報交換誌として、皆様のご活用、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。